

事業背景

- 人口減少、若年層世代の首都圏流出等の課題に対して、ハードとソフトを活用したまちづくりが求められている。特にJR焼津駅から近隣の焼津漁港（内港）は物販等の観光客ニーズを満たせていない。
- 全国随一の水揚げ額を誇るカツオ・マグロ等の水産加工製品について、長年「BtoB」で域外消費されてきたが、ふるさと納税やコロナ禍を機に「BtoC」商流が活性化され、市内事業者の連携機運が上昇。
- R6.3水産庁に「海業の推進に取り組む地区」のモデル事業に認定され、全国の漁港の模範となる賑わいの創出や水産物の消費拡大などの海業振興を目指している。

取組内容

- 来場者通算4万人を超えるマルシェを実施する実施者のノウハウを活用し、焼津漁港（内港）の既存施設を複合型観光施設として改修する。
- 複数事業者によるカツオ・マグロ等の地場製品の販売や、ライブキッチンによる実演や試食等「食の体験」、市内事業者の協働による新たな地域産品開発、将来的には2・3階フロアの飲食店展開等、内港エリアのにぎわいの創出を図る。
- コンシェルジュを配置し、地域産品の説明に加え、市観光協会と連携したレンタサイクルの設置、観光案内人の窓口となる等、観光案内の機能をもった施設とする。

事業実施者

株式会社いちまる

自治体・金融機関の支援内容

- 公費による交付額：46,130千円
国費（地域経済循環創造事業交付金）：23,065千円
地方費：23,065千円
- しずおか焼津信用金庫による融資：92,270千円
【初期投資】施設改修費、機械・設備費

地域への貢献

- 内港エリアの観光客の回遊と賑わいによる交流人口の増加や複合型観光拠点を軸とした市内全体の観光交流客の増加を図る
- 静岡県や点在する市内事業者と新たな地域産品を開発し地域の事業者に裨益効果をもたらす市内総生産の増加を図る
- コンシェルジュの配置による地域の新たな雇用を創出するとともに、地域産品の知識だけでなく域内観光知識を備えた人材を育成する



焼津漁港



ECサイト「焼津の網元」



事業者と連携したマルシェ